

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業の概要◇◇◇

事業名	ほこたブランド推進事業				
事業内容	<p>■農家の所得向上を図るため、付加価値向上、産地の知名度アップ、高級店、有名シェフと連携した事業展開、本市のフラッグシップ的農産物であるメロンについての全国産地との連携によるPR、「メロンの日」を活用した事業展開、消費拡大に向けた指定市場での販売強化を推進する。</p> <p>■農業のイメージアップを図るため、PR動画への若手の起用、登山等人気ウエアー企業の協力を得て「かっこいい」農業の実現に向けた取り組みを展開する。</p> <p>■銚田ファン獲得に向けた事業を展開し、銚田市産農産物の愛好家、Uターンによる就農者の確保を図る。</p> <p>■観光農園、直売所、市内飲食店組合等と連携を図り、交流人口の増加や農業から他産業への所得の波及効果を狙う。</p>				
総事業費	31,676,000円				
うち交付金	15,838,000円				
本事業における重要業績評価指標 (KPI)	指 標	① 市町村別 農業産出額	② 新規就農者数	③ 市内直売所 入込客数	④ 市農業所得
	目標指標値	732億円	27人	85万人	64億円
	目標年月	令和2年3月末			
本事業における実績値	基準値(H28)	707億円	18人	70万人	58億円
	実績値(H30)	754億円	64人	67万人	67億円
	達成度	103.0%	237.0%	78.8%	104.7%

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業評価シート◇◇◇

事業の評価	評 価 ※どちらか一方の番号に○してください。	1 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
		2 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
	評価に対する意見・理由	※有効であった場合は良かった点を、有効とは言えない場合は良くなかった点と改善策等を記載してください。
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針 ※いずれか1つの番号に○してください。	1 事業が効果的であったことから、取組みの追加等、更に発展させるべきである(事業拡大)
		2 特に見直しの必要がなく、今後も事業を継続すべきである(事業継続)
		3 事業内容の見直し(改善)を行うべきである
		4 事業実施を中止すべきである
	上記の方針を選んだ理由	

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業の概要◇◇◇

事業名	鹿行広域DMOプロジェクト				
事業内容	<p>昨年のFIFAクラブワールドカップ2016で準優勝した鹿島アントラーズと連携した「スポーツ合宿」を柱としたスポーツツーリズムブランドや、農業が盛んな当地域の強みを活かしたアグリツーリズムブランドを創出するため、鹿行地区版DMOを設立し、国内だけでなくインバウンド向けスポーツ合宿商品、鹿島神宮や水郷あやめを活用したインバウンド向けフォトウェディング商品及び豊富な農産物を活用した農業体験商品等を造成する。特に、合宿商品では今後増加が見込まれるムスリムに対応する合宿所の増加を図り、ムスリム圏において「海外合宿は日本・鹿行へ」と言われるようプロモーションを推進していく。そのためには、国内外の地勢、政治、経済、旅行先傾向、嗜好等に精通する旅行業務取扱管理者及びマーケティング担当者が、造成した商品を国内のみならず、ムスリム圏をはじめとする海外市場に展開する。その結果、外貨（地域外からのお金）を稼ぐ仕組みが作られるとともに、新たな雇用の創出による地域の活性化が図られる。</p> <p>また、全国に先駆けた観光地域づくりの取組としては、前述のムスリム対応合宿所の増加の他、国内で利用者が1千万人を超えるスマホアプリ事業者と連携し、DMO実施事業に対する予約体制を構築するとともに、域内市民の統一コミュニケーションツールの作成準備をしている。</p> <p>また、地域商社の要素として、地域資源を活用した土産物や特産品を開発し、マーケティングの手法を駆使して新規開拓を行い、商品の販売を促進していく。</p>				
総事業費	6,200,000円				
うち交付金	3,100,000円				
本事業における重要業績評価指標 (KPI)	指 標	① 観光入込客数	② スポーツ合宿参加者数	③ スポーツ合宿を目的とした訪日外国人数	④ スポーツイベント・農業体験後の民泊の売上げ
	目標指標値	3,199,727人	323,500人	2,200人	23,495,000円
	目標年月	令和4年3月末			
本事業における実績値	基準値 (H28)	2,599,727人	300,000人	—	—
	実績値 (H30)	2,662,717人	302,500人	2,000人	2,000,000円
	達成度	83.2%	93.5%	90.9%	8.5%

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業評価シート◇◇◇

事業の評価	評 価 ※どちらか一方の番号に○してください。	1 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
		2 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
	評価に対する意見・理由	※有効であった場合は良かった点を、有効とは言えない場合は良くなかった点と改善策等を記載してください。
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針 ※いずれか1つの番号に○してください。	1 事業が効果的であったことから、取組みの追加等、更に発展させるべきである（事業拡大）
		2 特に見直しの必要がなく、今後も事業を継続すべきである（事業継続）
		3 事業内容の見直し（改善）を行うべきである
		4 事業実施を中止すべきである
	上記の方針を選んだ理由	

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業の概要◇◇◇

事業名	ラムサール条約登録湿地「涸沼」を生かした広域観光等推進事業				
事業内容	構成市町（茨城町，銚田市及び大洗町），構成市町の各団体，金融機関等から組織される「ラムサール条約登録湿地ひぬまの会」を事業主体とし，①ラムサールの3本の柱「環境の保全・再生，賢明な利用，交流・学習」の推進（涸沼学習会），②行政界を超えた情報の発信（インバウンド対応含む：東アジア・東南アジア向け）（観光アプリケーション，涸沼ホームページ），③都会や海外との交流人口の拡大（誘客促進事業），④地域経済の活性化を図り，環境保全・再生，観光振興は勿論のこと，当該地域への交流人口，定住人口増加のきっかけづくりを図る。				
総事業費	1,900,000円				
うち交付金	896,796円				
本事業における重要業績評価指標（KPI）	指 標	① 3市町村への 観光客入込客数	② ひぬまの会HP アクセス数	③ 環境学習会 参加者数(延べ)	④ 販売施設の 売上金額
	目標指標値	732万人	47,000PV	50人	300万円
	目標年月	令和2年3月末			
本事業における実績値	基準値（H28）	561万人	45,500PV	—	—
	実績値（H30）	632万人	51,566PV	68人	501万円
	達成度	86.3%	109.7%	136.0%	167.0%

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業評価シート◇◇◇

事業の評価	評 価 ※どちらか一方の番号に○してください。	1 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
		2 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
	評価に対する意見・理由	※有効であった場合は良かった点を、有効とは言えない場合は良くなかった点と改善策等を記載してください。
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針 ※いずれか1つの番号に○してください。	1 事業が効果的であったことから、取組みの追加等、更に発展させるべきである（事業拡大）
		2 特に見直しの必要がなく、今後も事業を継続すべきである（事業継続）
		3 事業内容の見直し（改善）を行うべきである
		4 事業実施を中止すべきである
	上記の方針を選んだ理由	

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業の概要◇◇◇

事業名	ほこたグローバルブランディング事業 ～官民協働市民プロジェクト～		
事業内容	今までクローズアップされていなかった自然環境を重要な地域資源と位置付け、市民主導により事業を実施する。1年目に事業主体となる市民組織の立ち上げを行う。また、域内調査（現地調査）を実施し、ブランディング戦略の策定を行う。さらに、自然観察会等を実施する。2年目には、モニターツアーの実施、遊歩道の整備、ノルディックウォーキングロードの設定等を行う。3年目は引き続き遊歩木道の整備を行い、また、ノルディックウォーキング大会を実施する。さらには情報発信（小中学校用リーフレット、活動報告書等）を強化し、域内域外への各種情報提供に努める。なお、事業の実施にあたっては、関係団体等との連携を積極的に図る。		
総事業費	5,000,000円		
うち交付金	2,500,000円		
本事業における重要業績評価指標 (KPI)	指 標	① 主催イベント等参加者数	② 主催イベント参加者満足度
	目標指標値	200人	70.0%
	目標年月	平成31年3月末	
本事業における実績値	基準値	—	—
	実績値(H30)	211人	100.0%
	達成度	105.5%	142.9%

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業評価シート◇◇◇

事業の評価	評 価 ※どちらか一方の番号に○してください。	1 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
		2 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
	評価に対する意見・理由	※有効であった場合は良かった点を、有効とは言えない場合は良くなかった点と改善策等を記載してください。
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針 ※いずれか1つの番号に○してください。	1 事業が効果的であったことから、取組みの追加等、更に発展させるべきである（事業拡大）
		2 特に見直しの必要がなく、今後も事業を継続すべきである（事業継続）
		3 事業内容の見直し（改善）を行うべきである
		4 事業実施を中止すべきである
	上記の方針を選んだ理由	

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業の概要◇◇◇

事業名	第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業			
事業内容	<p>【茨城県】 東京圏の住民との交流を活発化し将来的な移住・二地域居住へとつなげることが、東京圏に近接する本県のめざす方向であることから、そのためのプラットフォーム「ふるさと県民登録制度」について、「いばらき移住・二地域居住推進協議会」を軸にした県内市町村や民間とのさらなる連携により、登録者を確保するとともに、当制度を活用した市町村移住施策への誘導を図る。また、移住をPRするターゲットを従来の“個人”から“企業”へと広げることにより、社員の多様な働き方を進めようとする企業発地方移住の促進を図る。さらに、フリーランスIT人材等の移住・二地域居住を支援し、地元企業とのマッチング等を図ることで、地方でのしごとの創出と人材の確保を同時達成する仕組みの構築を図る。</p> <p>【26市町村】※銚田市は平成30年度のみ参加 県における全県的な情報発信や相談窓口の機能の下、最終的な受け入れ先である市町村は、よりきめ細かな支援及び地域の暮らしに係る情報の提供を実施する。 また、本県に愛着を持つ（潜在的な移住予備軍である）「ふるさと県民」を掘り起こすとともに、「ふるさと県民」に対する移住や暮らしに関する情報やツアー等のコンテンツを提供し、将来的な移住の促進を図る。</p>			
総事業費	7,815,000円			
うち交付金	3,636,041円			
本事業における重要業績評価指標 (KPI)	指 標	① ふるさと県民登録者 (累計)	③ 移住受入体制の構築に取り組む市町村	④ トライアル移住 (社員移住) 実施企業数 (累計)
	目標指標値	5,000人	36市町村	15社
	目標年月	平成31年3月末		
本事業における実績値	基準値 (H27)	2,126人	25市町村	—
	実績値 (H30)	4,720人	36市町村	15社
	達成度	94.4%	100.0%	100.0%

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業評価シート◇◇◇

事業の評価	評価 ※どちらか一方の番号に○してください。	<p>1 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>2 取組事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった</p>
	評価に対する意見・理由	※有効であった場合は良かった点を、有効とは言えない場合は良くなかった点と改善策等を記載してください。
実績値を踏まえた事業の今後について	今後の方針 ※いずれか1つの番号に○してください。	1 事業が効果的であったことから、取組みの追加等、更に発展させるべきである (事業拡大)
		2 特に見直しの必要がなく、今後も事業を継続すべきである (事業継続)
		3 事業内容の見直し (改善) を行うべきである
		4 事業実施を中止すべきである
	上記の方針を選んだ理由	